

## TACT跡地に3PL用の新拠点 近鉄エクスプレス

近鉄エクスプレス（KWE）は二〇〇四年十二月、「第4原木ターミナル」（千葉県市川市）を稼働した。二〇〇三年一〇月に解散したTACT（東京エアカーゴシティターミナル）の跡地に建設したもので、総工費は約二六億円。今後は主に輸入航空貨物を保管・流通加工、国内配送するための拠点として活用していく。

「第4原木ターミナル」は敷地面積約一万八〇〇〇平方メートル、延べ床面積約二万一〇〇〇平方メートルの四階建て。今回完成したのは第一期工事分で、二〇〇五年九月には第二期工事分（延べ床面積約一万五〇〇〇平方メートル）

が竣工する予定。これによって、「第4原木ターミナル」は延べ床面積約三万六〇〇〇平方メートルの大規模拠点となる。

七八年に成田空港が開港して以来、航空貨物には生鮮品を成田で、その他ドライカーゴをTACTのある原木で通関する「仕分け基準」が設けられていた。しかし九六年に同ルールが解消されたのに伴い、近年は通関の成田シフトが加速。航空貨物の拠点を成田周辺に用意する物流企業が相次いでいる。

KWEも空港近隣に「成田ターミナル」を新設・増築するなど成田シフトを進めてきたが、「都心部により近い場所に物流拠点を設置したい」という顧客ニーズが依然として高い（松田芳昭副社長）こともあり、成田と並行して原木地区の拠点整備にも力を注いできた。原木地区で四拠点目となる「第4原木ターミナル」には荷主としてエレクトロニクス関連の外資系企業など数社の入居がすでに決まっている。KWEは各社と3PL契約を交わし、庫内作業から配送までの業務を一括で請け負う。

辻本博圭社長は、「輸入から配送までのロジスティクス全体をサポートしてほしい」というニーズが高まっている。最終的には会社全体の利益の五〇％をロジスティクス事業で稼げるようにしたい」としている。

第2期工事分の完成で施設の延べ床面積は約3万6000平方メートルになる予定



## 様々な物流計測ニーズに対応する 新光電子の物流計測機器

**VIBRA**  
Measure the Future

貨物  
寸法重量  
測定装置

### メジャーボーイ

貨物の寸法・重量を瞬時に測定、  
信頼と耐久性で物流計測の標準機

- 貨物を搬送しながら迅速・高精度に自動計測
- 貨物が斜めに通過しても正確に測定する傾斜補正機能

【寸法測定範囲/最小表示】 L:20~120cm、W:5~90cm、H:3~90cm/0.5cm  
【質量測定範囲/最小表示】 0.3~50kg（オプション100kg）/0.1kg



メジャーボーイ

人手による  
測定誤差や  
入力ミスを防ぐ

測定データを  
データベース化した  
物流計測システムの  
構築が可能

小物品  
寸法重量  
測定装置

### パーツスキャン

小物品や複雑な形状も高精度測定、商品マスター登録や管理用途に最適

- ポリ袋やブリスター商品等の半透明品も測定可能
- 寸法最小表示1mm、質量最小表示2gの高精度測定を実現

【寸法測定範囲/最小表示】 L:10~450mm、W:10~345mm、H:5~345mm/1mm  
【質量測定範囲】 4g~15kg 【質量最小表示】 0~5kgまで/2g、5~15kg/5g



パーツスキャン



ISO9001認証取得  
JQA-2834つくば事業所

未来をはかる

**新光電子株式会社**

【ホームページ】 <http://www.vibra.co.jp> 【E-mail】 [sales@vibra.co.jp](mailto:sales@vibra.co.jp)

本社/〒113-0034 東京都文京区湯島3-9-11 TEL:03-3831-1051 FAX:03-3831-9659

東京営業部/TEL:03-3831-1051 北関東駐在/TEL:027-360-4502 関西営業部/TEL:078-921-2551 中部営業所/TEL:0566-25-2026